

船舶事故等調査報告書

平成22年9月30日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2010神第125号	
事故等種類	衝突	
発生日時	平成22年5月9日 13時12分ごろ	
発生場所	和歌山県田辺市田辺港沖 番所鼻灯台から真方位255° 5.0海里付近 (概位 北緯33° 40.3′ 東経135° 14.4′)	
事故等調査の経過	平成22年6月28日、本事故の調査を担当する主管調査官（神戸事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	<p>船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等</p> <p>A ケミカルタンカー 第二^{さんきょう}恭丸、609トン 133971、恭海海運株式会社</p> <p>B モーターボート 康代丸、10.69m 252-14158和歌山、個人所有</p>	
乗組員等に関する情報	<p>A 船長、四級海技士（航海） 二等航海士、五級海技士（航海）</p> <p>B 船長、一級小型船舶操縦士</p>	
死傷者等	<p>A なし</p> <p>B 船長B左頬打撲</p>	
損傷	<p>A 右舷船首外板に擦過傷</p> <p>B 右舷船首に凹損</p>	
事故等の経過	A船は、船長A及び二等航海士Aほか4人が乗り組み、田辺港沖において、南東進中、B船は、船長ほか1人が乗り組み、北進中、平成22年5月9日13時12分ごろ、A船の右舷船首とB船の右舷船首とが衝突した。	
気象・海象	<p>気象：天気 晴れ、風向 西北西、風力 2、視界 良好</p> <p>海象：海上 平穏</p>	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>あり</p> <p>なし</p> <p>なし</p> <p>A船が、田辺港沖を南東進中、二等航海士Aが適切な見張りを行わなかったため、B船に気付かなかったものと考えられる。</p> <p>B船が、田辺港沖を北進中、船長Bが適切な見張りを行わなかったため、A船に気付かなかったものと考えられる。</p>
原因	本事故は、田辺港沖において、A船が南東進中、B船が北進中、両船が適切な見張りを行わなかったため、両船が衝突したことにより発生したものと考えられる。	